

岩手県高齢者総合支援センターだより

令和6年3月18日 vol.97

公益財団法人いきいき岩手支援財団

TEL:019-625-7490 FAX:019-625-7494

こんにちは、岩手県高齢者総合支援センター（いきいき岩手支援財団）です。

気が付けば3月も下旬となり、春を感じる頃となりました。この時期は環境の変化や寒暖差など体にかかる緊張感から心身ともに負担がたまりやすい季節です。暖かくなってくると新たなことを始めたい気持ちも出てきますが、ストレッチをしたり、ゆっくり休むなど「休息时间」を設け、ご自身の身体にも十分に気を配ってあげてくださいね(^ ^)♪

それでは第97号の「センターだより」をお届けします。

介護ロボット ICT 導入研修会・体験展示会を開催しました！

2月20日(火)、介護ロボット・ICT 導入研修会が開催されました。会場にはたくさんの方にお越しいただき、実際の福祉用具を体験していただきました！

チャピット



テレビでも特集をしていただきました！↑

厚労省 佐々木 憲太様

介護生産性向上推進総合事業や、全世代型の持続可能な社会保障制度を構築するための法案の改正事項など、令和6年度介護報酬改定を中心に最新情報をお話しいただきました。

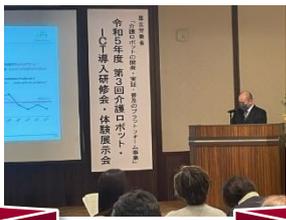


↑ 鎌田様

(株)TRAPE 鎌田 大啓様

国の制度作り（介護保険・総合事業のデザイン）、自治体の介護予防を改革するためのパイロット事業介護事業所の働き方改革、生産性向上など多数の案件に携わっている株式会社 TRAPE の鎌田さんを講師にお呼びしました。令和6年度介護報酬改定における「生産性向上」を中心にお話しいただきました。

R5 伴走支援 3 施設に介護現場の改善活動に取り組んでいただきました！



介護老人保健施設
やまゆり（一関市）



アノルス指定通所介護
事業所（住田町）



グループホーム
ひだまり（久慈市）

<地域包括ケア研修会を開催しました！>



地域ケア会議に参画する リハビリテーション専門職育成研修会

日時： 2月10日(土)
開催形態：オンライン
参加者：49名

「地域リハの在り方と療法士に求められる連携」(青森県立保健大学諸橋勇教授)、「口腔機能の維持向上」(岩手県歯科衛生士会富手由歌里専務理事)、「多職種連携で行う自立支援会議のポイント」(ケアタウン総合研究所高室成幸代表)、「自立支援型地域ケア会議の実践事例」(南昌病院三浦正徳統括主任)について各講師から講義をいただきました。参加したリハ職から「地域でのリハビリテーションにおいて、専門職としてどのように在るべきなのか、利用者さんとの関わる時間が一番長い職種としてどのように生活を支えていくべきか、他職種との連携のポイントについても内容を捉えることができた」、市町村職員から「ケア会議を開催する立場としてリハ職の見解が参考になり、反省する部分もあった」との感想が寄せられるなど、気づきが多く満足度の高い研修となりました。



リハビリテーション 専門職等連絡会

日時： 3月16日(土)
会場： マリオス188会議室
参加者：28名

「市町村支援を担うリハ職として押さえておくべきこと」(岩手県作業療法士会藤原瀬津雄会長)、「矢巾町の自立支援型地域ケア会議」(矢巾町地域包括支援センター吉田均所長)について各講師から情報提供をいただいた後、「市町村支援における地域リハビリテーションの今後に向けた取り組みと連携について」をテーマとしてグループワークを行いました。介護予防事業や地域ケア会議などの市町村事業に参画経験のあるリハ職を中心として参画の意義や課題などが提起され、市町村担当者も含め活発な意見交換ができた有意義な連絡会となりました。



<市町村を訪問して意見交換を行いました！>

◆地域包括ケアシステム構築支援にかかる 市町村個別ヒアリング

財団担当者が個別に市町村を訪問し、地域包括ケアに関する意見交換会(アドバイザー派遣前の課題整理等を含む)を26市町村で実施しました。今年度初の取組でしたが、いずれの市町村からも「担い手の高齢化と担い手不足」「住民ニーズの多様化と課題の複雑化」などに苦慮しているとの声が聞かれました。また、総合事業で新たな取組を始めたとしても「職員体制が厳しい」「事業所に余裕がない」など人員不足が大きな課題となっているようです。そのような中、アドバイザー派遣を受けてチームオレンジの立ち上げ、高齢者の移動支援体制の構築、地域ケア会議の効果的な運営などに取り組んでいる市町村も数多くありました。財団では今後も個別ヒアリングを実施しながら諸課題を共有するとともに、いただいたご意見等を参考としながら研修会などの充実を図っていきたくと考えております。

◆釜石・気仙圏域市町村等 地域包括ケア連携連絡会

令和6年3月1日(金)
オンライン開催
参加者16名

高齢者福祉圏域市町村と所管広域振興局(センター)の地域包括ケア担当者の意見交換や情報交換を行う場として、今年度初めて連絡会を開催しました。今回は2圏域の合同開催としましたが、市町村からは「チームオレンジの立上げ」や「総合事業の実施」に関する課題提起がなされ、広域振興局からは「県が実施する介護予防地域支援事業」について意見を求められるなど、県長寿社会課を中心とした連携連絡の場となりました。来年度は対象を県内9圏域に広げて圏域ごとに開催する予定としています。

<来年度の地域包括ケア研修の予定>

講師と調整が済んでいる研修は次のとおりですので、皆様、日程確保をお願いします。

◆令和6年度生活支援体制運営研修

令和6年7月5日(金)
アイーナ 804B 会議室

・講義1(10:00~12:00)

テーマ:「生活支援コーディネーターの役割とその実践(仮)」

内容:生活支援体制整備事業の目的とその重要性、SCと協議体の役割等

講師:医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長
さわやか福祉財団 エグゼクティブアドバイザー 服部 真治 氏

・講義2(13:00~15:30)

テーマ:「地域包括ケアシステムの構築における生活支援体制整備事業の役割(仮)」

内容:市町村におけるサービスづくり、地域資源・地域ケア会議等

講師:医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長
長寿社会開発センター 国際長寿センター室長 中村 一朗 氏

・質疑応答(15:30~16:00)

講義1~2を通じて

~研修を開催しました~

権利擁護推進員養成研修 (第4回)



日時: 2月22日(木)
13:30~16:00

会場: アイーナ 8階 研修室 812

参加者: 30名

権利擁護看護実務者研修 (第2回)



日時: 3月1日(金)
10:00~16:00

会場: アイーナ 804A

参加者: 27名

~情報交換会・連絡会を開催しました~

(第2回) 総合相談支援業務にかかる 情報交換会・相談会

<北上会場>

日時: 3月7日(木)
13:30~15:30

会場: 北上市総合福祉センター
研修室

参加者: 9名

<盛岡会場>

日時: 3月8日(金)

会場: アイーナ 501 会議室

参加者: 9名

地域づくりによる介護予防 推進支援事業情報交換会

日時: 3月14日(木)
13:30~15:30

会場: マリオス 181 会議室

参加者: 21名



相談事業のお知らせ

権利擁護相談

虐待について、適切な支援の方策を助言してほしい、業務に就いたばかりなので、制度など専門家に教えてもらいたい、対応が適切だったか事例検討したい…などの相談に応じます。

相談担当者	月	日	時間
弁護士	3月	15日(水)	14:00~17:00
社会福祉士			

シルバー110番

県民の高齢者やその家族の皆様からの困りごと・悩み事・知りたいことなど相談に応じます。

※専門相談は要予約制です。

専門相談区分

3月

法律

17日(金)

認知症

21日(木)

出張相談

出張相談 in 大船渡市 開催が決定しました!!

3月21日(木)は大船渡市にあるおおふなぼーとにてつどいの会が開催されます!それに付随して出張相談を開催することが決定いたしました。認知症の家族を介護しているけれど話をできる人が身近にいないとお悩みの方、直接介護はしていないけれど認知症の症状について話を聞いてみたいという方の参加も歓迎しています!

この機会にお話ししてみませんか?参加費は無料です。ぜひお気軽にご参加ください!



介護ロボット体験できます!



etc...

介護ロボット事業は
こちらから↓



お問い合わせ先

岩手県高齢者総合支援センター

時間：平日9時から17時

TEL：019-625-7490

FAX：019-625-7494

令和5年度も大変お世話になりました。

新年度も様々な研修へのご参加、当センターのご利用をお待ちしております。今後ともよろしくお願いたします。